

2022年5月16日

各位

会社名 ブロードマインド株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 清
 (コード番号：7343 東証グロース)
問合せ先 取締役 鶴沢 敬太
 (TEL 03-6687-1318)

文部科学省の「土曜学習応援団」に賛同し、 小学生・高校生に金融教育プログラムを提供開始

保険・証券・住宅ローンと複数の金融商品を横断して1社で取り扱うブロードマインド株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：伊藤清 証券コード：7343 以下：当社）は、学習指導要領の改訂により本年4月から本格的に開始した「金融教育」の一層の推進に資するべく、文部科学省が推進する「土曜学習応援団^{※1}」に賛同し、小学生・高校生を対象に出張授業を開始することをお知らせいたします。

本件は当社事業の強みや知見を活かしたESGの取り組みの一環となります。今後も「生活者の金融リテラシーの向上」という社会課題の解決を通じたサステナビリティへの貢献に注力してまいります。



※1：土曜学習応援団：

地域や企業の協力を得て子供たちの土曜日の豊かな教育環境の実現を目指す、文部科学省主催のプロジェクト。

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/program/index.html>

■賛同の背景

当社は年間2万件ほどの個人のお客様を中心としたお金のご相談に対応していますが、「もっと早くからお金やライフプランニングについて学んでおけばよかった」というお声を多数頂戴し、日頃から金融教育の必要性を実感しておりました。また、文部科学省が定める教育課程の基準である「学習指導要領」の改

訂で、2020年度から小学校・中学校、本年4月には高校と順次金融教育が開始され、これまで以上に金融教育の重要性が高まっています。

このような背景を受け、当社は土曜学習応援団の活動目的に強く賛同し、学校教育で行われる体系的な知識学習を深化させるような「体験」「実感」につながるプログラムを提供することを決定いたしました。

■プログラム企画

<小学生向けプログラム>

“マネモン”を育てながら「働く(稼ぐ)→使う・守る・殖やす・借りる」の金融行動を体験!

https://manabi-mirai.mext.go.jp/search_program/detail/002602.html



大人になってからは当たり前のように行っている金融行動ですが、多くの人は生活を送るなかで必要性が出て初めて(金融行動を)経験するのが現状です。子供の時には、金融行動や関連する知識などに関心が向くような機会や学べる機会もないため、必要になった時に必要な金融リテラシー^{※2}が備わっていないケースが多く、煩雑な金融商品・情報から最適な手段を選べないことも少なくありません。

そこで、小学生向けのプログラムとして、「働く(稼ぐ)→使う・守る・殖やす・借りる」の金融行動について、ミッションをクリアしながら一通り体験が出来るプログラムを開発しました。さらに、自ら稼いだお金に対し「使う・守る・殖やす・借りる」のどの選択をするかは、自分で選択をしながら進めていきます。また、手持ちのお金に応じて、相棒である“マネモン”が成長します。

金融知識を付けることよりもまずは自身の金融行動の「選択」について考え、その行動によって「自分の人生にどのような影響が出るのか体験」してもらうことで、金融行動や金融商品、ライフプランについて興味関心を持ってもらうことを狙いとしています。

※2：金融リテラシー

日々の家計管理や資産形成、金融取引や保険、金利やローンの知識など、お金と上手に付き合うために必要な知識や判断力

<高校生向けプログラム>

「年金は払わない方がお得？」のギモンを生きた知識で解消！

https://manabi-mirai.mext.go.jp/search_program/detail/002603.html

国民年金被保険者実態調査^{※3}によると、国民年金の保険料納付割合は47.6%となっており、納付免除や納付猶予などを除いても2割近くが未納という状況です。未納の理由については、「支払いが困難」という回答の割合が最も多いものの、次いで高いのは、20代では「うっかりして忘れた」、30代では「年金制度の将来が不安・信用できない」という回答の割合となっており、若い方でも支払い能力ではなく年金を未納しているリスクを実感できていないことも要因になっていることが分かります。

そこで、高校生向けのプログラムでは、年金制度や概要を学ぶだけでなく受給額の計算なども実際行うことで、年金の未納のリスクについて学んでいただきます。併せて投資や借入れなどの計算も行いながら比較をしてみることで、今後の生活を送るうえでどのような方法を優先していくのが良いかの判断に役立てられるプログラムとなっています。

※3：平成29年 国民年金被保険者実態調査 > 保険料納付状況 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/140-15a-h29.pdf>

このような金融教育プログラムを提供することで、早い段階からお金やライフプランについて考えるきっかけにいただき、学校での金融教育の理解を深める一助となれば幸いです。

■今後の展望

生活者1人ひとりに対する自助努力の要請に代表される社会的な背景を受け、生活者・企業問わず今後も金融教育の必要性は高まっていくものと考えられます。当社では、ワンストップサービスの提供を通じて得られた家計・税・社会保障・金融経済や金融商品等に関する広範な知識・情報のほか、顧客に対する深い知見を有している強みを活用しながら、「金融教育」というテーマの中で幅広い対象を想定しながら検討を進めています。

当社では、金融教育というテーマを成長戦略推進のための新規事業における1つの方向性として位置付けておりますが、他方で今回の取り組みに代表されるように、「生活者の金融リテラシーの向上」という社会課題の解決を通じたサステナビリティへの貢献にも注力してまいります。

<ブロードマインド株式会社について>

ブロードマインドは「金融に倫理を、人生に自由を」というミッションのもと、ワンストップ金融コンサルティング「マネプロ」やサブスク型資産管理アドバイス「顧問FPサービス」、コンサルタントと双方向のコミュニケーションが取れるライフプランシミュレーター「マネパス」などを提供し、人々のライフプラン実現のサポートをしています。

ブロードマインドはこれからもフィナンシャルパートナーとして“誰のための金融か”を問い続け、これまでの金融業界の既成概念に捉われない金融サービスを開発・提供することで、「あるべき姿の金融」を社会に実装することを目指します。

- 会社名 : ブロードマインド株式会社 (<https://www.b-minded.com/>)
- 代表者 : 代表取締役社長 伊藤 清
- 本社所在地 : 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-5-5 JR 恵比寿ビル 7F
- 設立 : 2002 年 1 月
- 資本金 : 5 億 7,137 万円 (2022 年 3 月末時点)
- 主なサービス :
- ・ワンストップ金融コンサルティング「マネプロ」<https://www.moneypro.jp/>
 - ・サブスク型 資産運用・管理アドバイスサービス「FP 顧問サービス」<https://www.b-minded.com/financial-advice/>
 - ・ライフプラン シミュレーター「マネパス」<https://www.moneypass.jp/>
 - ・BtoC 特化 オンライン商談システム「ブロードトーク」<https://www.b-minded.com/broadtalk/>